

「竹林居」

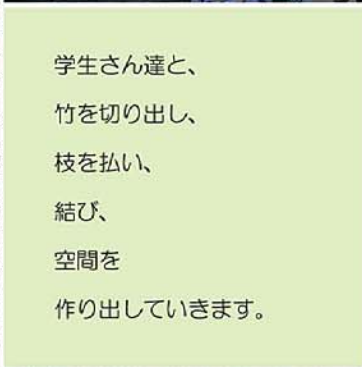
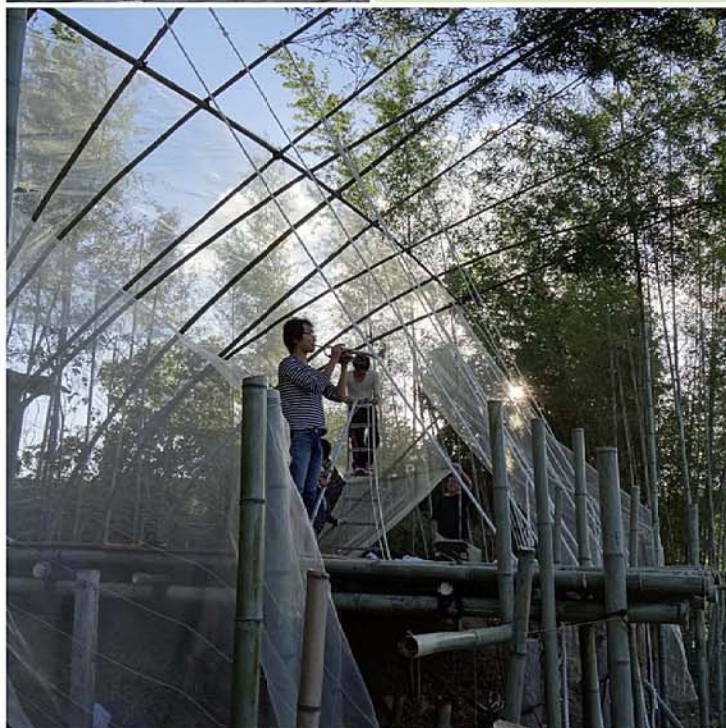
ながくてアートフェスティバル2013



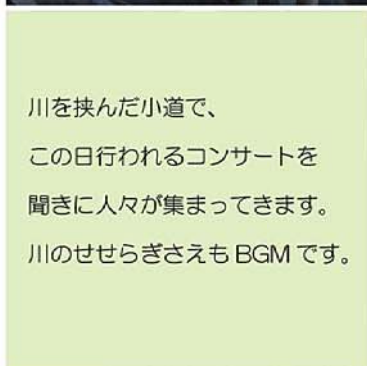
木と同様、竹林も私達にとっては身近な風景です。
 「木」=「自然」と捉えれば、「竹」=「自然」でもあります。
 しかもこれはやっかいな存在で、我々の前に立ちふさがっています。
 2012年、ベトナムで美しいだけでなく使える竹建築に出会い、2013年「竹林居」を造りました。
 竹が強いメッセージを持ちアートな形で存在すれば、「竹もいいね」「木もいいね」「自然でいいね」と人々も関心を持つのではないかと考えました。



竹林整備の一環で、「実なる機能付きアート」を考えたとき、
 労務費をどう抑えるかは大きなポイントになります。
 竹林の中で、その場の生きている竹を使った今回の試みは
 他の環境整備の計画の中でも、十分に使える手法だと
 強く感じています。



学生さんと、
 竹を切り出し、
 枝を払い、
 結び、
 空間を
 作り出していきます。



川を挟んだ小道で、
 この日行われるコンサートを
 聞きに人々が集まってきました。
 川のせせらぎさえもBGMです。

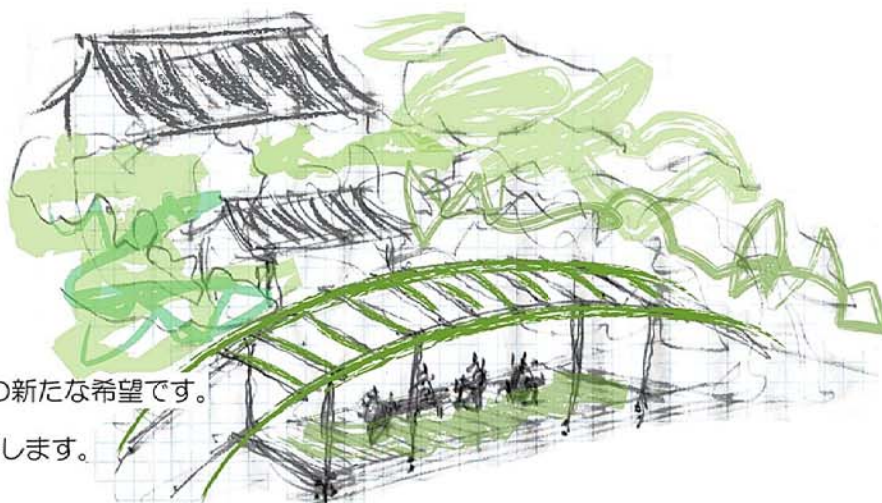


まつりのあと。
 竹林居は実測を行い、
 撤去となりました。
 竹炭を作っている団体にお願ひし
 竹炭へと形を変え、
 また環境材として貢献するのです。

「竹林居Ⅱ」 in 安昌寺



2013年の「竹林居」で学んだのは、竹林の特性と建築の素材としての新たな希望です。
 2014年この学びを、次のステージへと移行させ、「竹林居Ⅱ」を提案します。



ながくて
 アート
 フェスティバル
 2014
 NAGAKUTE
 Art
 Festival
 2014
 10/04日~19日
 www.nagakuteartfestival.com